

# 第3回

# さかの聴覚障害者映像祭

## 聴覚障害者による聴覚障害者のための映像祭典!

### 開催と作品募集のお知らせ

映画のふるさと、京都・嵯峨野であなたの映像作品を発表しませんか?  
このイベントは、聴覚障害者が制作した映像を公募・紹介することで、  
聴覚障害者の放送・映像活動を推進し、メディア社会への平等参加を図り、  
情報バリアフリーをめざします。

2007年

**2月4日(日)**

**10:00~17:00**

聴覚障害者が制作した

## 応募作品上映

## シネマトーク

### 作品応募要項

**募集内容** フィルム制作、ビデオ制作、DVDなど不問。テーマは自由。  
1団体(1個人)1作品限定とし、応募多数の場合は一次審査を行います。  
但し、公序良俗に反する内容の作品については、出品をお断りする場合があります。

**部門** (1) 学生部門  
(2) ドキュメンタリー部門  
(3) フィクション部門

**出品料** 1,000円

**応募資格** 聴覚障害者団体、聴覚障害者個人または聴覚障害者を含むグループ

**応募締切** 2007年1月20日(土) 当日消印有効

**優秀作品発表** 2007年2月4日(日) 於 さかの聴覚障害者映像祭  
特に優れた作品については、「目で聴くテレビ」で放映します。  
※応募詳細は、別途 応募要項 を下記にご請求ください。

**2月3日(土)**

**第一部 13:00~16:00**

**第二部 17:00~20:00**

## 秘蔵映像公開 『睦ニュース』

昭和30年代の聴者用ニュース

昭和36年創立の聴覚障害映画演劇研究会は、8ミリフィルムによる映画制作を手がけ、  
『楽しい日曜日』をはじめ、6時間の長編『三浦浩介半生記』、未完成作品『たき火』の作品がある。  
また、当研究会の活動状況を知らせた機関紙版の他に、8ミリ版のニュースも30本以上制作していた。  
『聴覚障害映画演劇研究会』は、まさに情報メディア時代を先取りした活動をしていたのだ。  
当時の貴重なニュース映像を初公開します!

トロント国際ろう映画&芸術祭2006  
大賞受賞作品

## 「迂路」

## 上映

**参加費** 2日間有効1,500円 (1日間のみ1,000円)

**会場** 全国手話研修センター (コミュニティ嵯峨野)

〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4

**内容** 聴覚障害者および聴覚障害者を含むグループが、  
監督、キャスター、カメラマン、出演者として自主制作、収録した映像の発表と紹介

**主管** 第3回さかの聴覚障害者映像祭実行委員会

**主催** 特定非営利活動法人 CS障害者放送統一機構  
(共催) 社会福祉法人 全国手話研修センター

【応募および問い合わせ先】

特定非営利活動法人 CS障害者放送統一機構 「第3回 さかの聴覚障害者映像祭」係

〒530-0044 大阪市北区東天満2-7-12 スターポート

Fax.06-6242-6502 Tel.06-6242-6501